

大阪府子どもの生活に関する実態調査（支援機関等調査）票

＜ 調査の趣旨と協力をお願い ＞

本調査は、「大阪府子どもの生活に関する実態調査」の一環として実施するものです。子どもや家庭の抱える課題は複雑かつ多様化しています。特に支援を必要とする子どもやその家庭に対する支援の課題、各支援機関の課題や連携体制に関する課題を明らかにし、子どもの貧困に関する課題の背景やその対策を検討するにあたっての参考資料を得ることを目的として実施します。

提出期限 平成28年10月18日(火)

問 合 せ 先

◆提出方法などの手続きに関する問合せ先◆

枚方市 子ども青少年部 子ども青少年課
 電話 072-841-1375（直通）※9:00～17:30 土日祝日を除く
 ファクシミリ 072-843-2244
 住所 枚方市大垣内町2丁目1-20 枚方市本庁舎別館5階

◆質問の内容に関する問合せ先◆

大阪府 福祉部 子ども室 子育て支援課 推進グループ
 電話 06-6944-7108（直通）※9:30～18:00 土日祝日を除く
 ファクシミリ 06-6944-3052
 住所 大阪市中央区大手前3丁目2-12 大阪府庁別館7階

回 答 者

支援機関 等の名称		役職名	
		名 前	

質問への回答方法について

<回答にあたってのお願い>

本調査は、子どもの貧困対策の検討にあたって参考にさせていただくための調査ですので、記入にあたっては、現在の職務上、子どもや家庭に関わってきたなかで経済的な困窮があつて、さらに経済的な課題以外にも複数の課題を抱えたケース（※）や過去の経験で特徴的な事例をイメージしてご記入ください（※例えば、DVや健康診断未受診、保育料滞納など）

◆選択肢のある質問については、次のように答えてください。

（例）あなたの好きな花はなんですか。

1. さくら	3. バラ
②. チューリップ	4. その他の花

※ 答えは、あてはまる番号に○をつけてください。

※ ○のつけかたは、質問文の終わりに「あてはまる番号1つに○をつけてください」等と記載していますので、それにしたがってください。

◆記述式の質問については、概要がわかる程度の箇条書きで結構です。（個人が特定されないようご注意願います。）

（例）問2 あなた（あなたの機関）が行っている支援で工夫されている点を教えてください。

番号	②、⑨
相談内容を把握するスキルを高めるため、他の機関の相談員と積極的に知り合いになるなど、協働しながら支援が進められる相談体制の構築を常に意識している。	

経済的な困窮をはじめ複数の課題を抱えたケースで、支援がうまくいった事例についておたずねします。

問5 支援の対象は子どもですか、保護者ですか。(あてはまる番号1つに○をつけてください)

1. 子ども 2. 保護者 3. 子ども・保護者の両方

問6 うまくいったポイントは何だったかを教えてください。以下の説明に沿ってご記入ください。

※どのタイミング(①対象者が自身の課題に気付いた時など支援を開始したタイミングと②そのタイミングに至った経過や方法等を教えてください。)でどのような支援(要保護児童対策地域協議会や連絡会などの機関連携の会議でのケースの共有、学習支援事業など支援事業、〇〇機関へのつなぎなど具体的に教えてください。)をしたらうまくいったという内容をご記入ください。

経済的な困窮をはじめ複数の課題を抱えたケースで、支援がうまくいかなかった事例についておたずねします。

問7 支援の対象は子どもですか、保護者ですか。(あてはまる番号1つに○をつけてください)

1. 子ども 2. 保護者 3. 子ども・保護者の両方

問8 うまくいかなかった原因は何だったかを教えてください。

※ 例えば、ここ2～3年において、日頃行っている(工夫されている)支援の中で、困難だったと思われる主な事例について記入してください。

経済的な困窮をはじめ複数の課題を抱えたケースで、他機関との連携についておたずねします。

問9 他機関との連絡会（※）などがありますか。（あてはまる番号1つに○をつけてください）

※「連絡会」とは、相互に情報交換し合う場をいい、その設置形態は問いません。

1. ある 2. ない 3. わからない



問10 「1. ある」場合、その内容、頻度、参加機関名を教えてください。（主なもの1つ）

目的：

内容：

頻度：

参加機関名：

問11 他の機関と連携する際の課題を教えてください。

問12 他の機関と連携する際に工夫することがあれば教えてください。

問13 関係機関と連携した施策として、どんなものがあればいいか教えてください。

問 14 経済的困窮をはじめ複数の課題を抱えるケースに対応されていて、課題があると思われることはありますか。（「課題」欄のあてはまる番号に○をつけてください：複数回答可）
また、考えられる改善策がありましたらご回答ください。

課題		改善策
1. 発見の仕組みがない	⇒	
2. 支援の対象がわからない	⇒	
3. 発見後のつなぎ先がわからない	⇒	
4. 支援を拒否される	⇒	
5. 子どもへの支援策が少ない	⇒	
6. 若者への支援策が少ない	⇒	
7. 関係機関等との連携が困難 (機関名：)	⇒	
8. 個人情報共有が困難	⇒	
9. 支援のネットワークがない	⇒	
10. その他 ()	⇒	

問 15 その他、ご意見がございましたら記入願います。

※今後、現在実施している事業の拡大や新規事業の実施など、子どもの貧困問題の解決に向けて、検討されている事業がありましたら、記入ください。また、その他の意見でも結構です。

質問は以上です。調査にご協力いただきありがとうございました。